



# 地域の夢

## 見附地域

「新市地域らしさ価値」を高めるための見附地域の方針と活動

### 見附地域は、こんなところ

#### ■見附市の成り立ち

見附市は北緯37度31分19秒、東経138度54分50秒、まさに県の真ん中に位置するまちです。東側に丘陵地帯、西側に平野部をなし、信濃川水系の刈谷田川が市を南北に分けて流れ、四季折々の自然に恵まれています。

見附の歴史は古く、縄文、弥生時代から人々の営みがあったことが、市の指定文化財「耳取遺跡」によって確認されています。

戦国時代には地名の由来となる「見附城」をはじめ、多くの山城が築かれました。



「見附」の地名は、山城を築き敵を「見つける」から転じたとする説、川が氾濫し、「水に漬く」から転じたという説などがあります。近世には刈谷田川の舟運、陸上交通の拠点として重要な役割を果たし、近年は高速交通網や地理的な利便性などを背景に、市街地間を中心に宅地造成や商業開発が進んでいます。

### 見附地域の方針と活動 (右頁参照)

見附地域において「新市地域らしさ価値」を高めるための方向性と、活用したい地域資源（地域の強み）から検討した、将来実現すべき地域の姿（整備・活動方針）と実現のための活動・展開を提示します。

#### ■トータルファッションシティ

見附市は肥沃な土地による農業と繊維産業を基幹産業として発展してきました。特に繊維産業の歴史は古く、1800年ころに始まり、幕末には見附結城は全国的にも知られるようになりました。以来、当地は染色、織物、ニットなどの総合繊維産地として発展を続け、現在ではプロ野球チームのユニフォーム生地などの製造など、その高い技術力が広く知られています。

春・秋の年2回開催される「ニットまつり」では、見附の誇るハイセンスな製品を超低価格で提供。産地



ならではの品揃えと価格が魅力と毎回、県内外からお客を集め、常設希望も多く寄せられています。

#### ■医療・福祉の里

市立成人病センター病院、特別養護老人ホーム、老人保健施設、保健福祉センターなどのすべての施設が市街地域に集積。

医療・福祉の関連施設が集積していることにより、利用者にとって便利なことや、入院入所されている家族を訪問しやすいと市民から好評を得ている。

#### ■大凧合戦

美濃紙100枚(4.3m×3.3m)を使った六角凧を引き合う豪壮な凧合戦。6月第1土曜日から3日間、見附市今町と中之島町の若者が刈谷田川両岸に分かれて繰り広げられています。



## 2 整備・活動方針と活動展開

### —新市全体ありたい姿— WANT

見附地域において

### 独創企業が生まれ育つ都市

～誠実さが生み出す「技」立国・新ながおか～

を高める方向性

- ・長岡技術科学大学や長岡造形大学等と既存高度技術集積を活かした産学官連携による先端技術開発
- ・異業種交流による新産業の創出

### —実現すべき見附の姿— WILL

#### ■見附地域整備・活動方針

### 高度技術・高感性をもつ人材による多様な産業の花が咲くまちの創造

- ・ファッション産業による豊富な技術と他分野産業、研究機関を活かした産学官連携による新ビジネス開発拠点地域となる

実現していくための活動・展開

#### 見極める

- 県営産業団地を核とした異業種交流・産学官連携のしくみづくりと拠点機能の創出
- 環境型新ビジネス、新技術開発への取り組み

#### 発信する

- 多様な産業の誘致・育成に向けた産業立地優位性のアピール・発信
- 地域内のファッション産業の核となる拠点づくりの推進による新ながおかブランドの発信

#### 育てる

- 多分野のエンジニア交流ネットワーク環境づくり
- 貸工場など、多様な支援活動による新ビジネスの育成活動

### —活用したい地域資源— CAN

#### 資源の強み・内容

##### 繊維産業

- 歴史ある総合繊維産業の地として、材料加工からデザイン・最終製品化までの全工程を、地域内で処理
  - ・糸加工から織編・デザイン・染色・縫製までの製造工程が、地域内でパッケージ化されていることで、独自商品の新規開発が、設備・人材の両面で可能
- 一流ブランドの製品づくり
  - ・確かなデザイン力・技術力を有している
- 若手企業人の連携の動き
- 地場産業振興アクションプランが進行中
  - ・一社一ブランド化試み等の企業の連携・新規開発の動き
- 県工業技術総合研究所
  - ・地場産業の振興プラン実施
  - ・県工業技術総合研究所素材応用技術支援センター立地による連携

##### 県営産業団地

- ・ I C 至近で、好立地条件
- 県中央部に位置
  - ・ 先端産業の進出
- 県の産業振興拠点
  - ・ 企業連携による技術の利用・応用の可能性

##### 見附工業団地

- 地域外からの多様な企業進出



## 2 整備・活動方針と活動展開

### —新市全体のありたい姿— WANT

見附地域において

### 元気に満ちた米産地

～まごころ米の生まれる里・新ながおか～

を高める方向性

- ・食を通じた農業の魅力づくり
- ・担い手不足の解消を目指した農業の活性化
- ・地産地消の実現

### —実現すべき見附の姿— WILL

#### ■見附地域整備・活動方針

### 健康に満ち溢れた農産地の創造

- ・「食」「生産」「人材」「消費者の食の安全性」の視点を活かした健康農業地域づくり

実現していくための活動・展開

#### 見極める

- 流通経路の開拓による、有機食材の安定供給・定量消費の促進

#### 発信する

- 「健康」という付加価値をつけた食生活（食材～食事）の創造・発信

#### 育てる

- 安心・安全な食を目指し新たな生産技術導入による農業の活性化

### —活用したい地域資源— CAN

#### 資源の強み・内容

##### 安心安全な農産物の生産と環境整備

- 有機堆肥（民間企業）の土づくりによる有機米・有機野菜の生産の推進
  - ・ 地域内での高品質かつ安定的な農産物の供給が可能である
  - ・ 都市部に消費人口を抱え、生産消費循環を地域内で進めることが可能である
- 恵まれた水利
- 少ない降雪によって通年でハウス栽培が可能（通年就農可能）
- 大規模ほ場推進による農業経営合理化

##### 「食」による健康づくり地域

- マクロビオティック食事療法の導入等による食生活の改善と地域健康づくり
- ・ 健康づくりの観点から食生活の改善を通じて、有機食材の消費拡大・地産地消の推進ができ、消費側からの農業活性化の推進が可能である

第4部 私たちの望むまちと取り組み

◆地域の夢（見附地域）

### 3 整備・活動方針と活動展開

#### —新市全体のありたい姿— WANT

見附地域において

## 世代がつながる安住都市

～未来人を育む資源博物館・新ながおか～

を高める方向性

- ・予防医療による元気なお年寄り社会
- ・子育てや教育における「おじいちゃん」「おばあちゃん」の役割の重要性

#### —実現すべき見附の姿— WILL

#### ■見附地域整備・活動方針

### 健康長寿日本一への挑戦と世代間交流先進地域の創造

- ・元気なお年寄りが若者と共いいきいきと暮らせる地域の創造
- ・お年寄りの経験が伝承できるまちの創造

実現していくための活動・展開

#### 見極める

- 科学的トレーニング・食事を活用したすべての世代をつなぐ健康づくりによる、まちの活力向上への展開

#### 発信する

- 医療・福祉・教育施設の融合による、新たな交流モデルの創出・発信

#### 育てる

- 子ども達の活動へ高齢者資源（高齢者の持っている豊かな技術・経験・知恵など）を活用することによる、元気なまちづくりの推進
- 地域住民による歴史・自然・伝統文化を活かした地域社会教育の推進・強化

#### —活用したい資源地域— CAN

#### 資源の強み・内容

#### 県の重心地

- ・県内偏りなく、集まることができる地域

#### 中之島・見附IC

- ・交通の利便性が高い

#### 国際交流（早稲田・オレゴンプログラム）

- 早稲田大学による留学生のホームステイ事業、“地方都市体験”部門を見附で実施、年間15～20人程度の受け入れ実績
- ・完全ボランティアで実施されており、後の市民交流も盛ん、まとまった人数の受け入れ体制のとれる都市が少ない、ノウハウが確立している

#### ニットまつり

- 春秋年2回開催の産業まつり、ブランドラベルの付かない製品を超低価格で提供、10年以上の実績
- ・毎回県内外からお客を集めている、人気が高く、常設希望が多い

#### 大風合戦

- 350年以上の伝統と歴史のある行事
- ・日本中の風仲間が集うまつり、越後六角会などヨーロッパに出での活動、早稲田大学の参加など交流のチャンネルが広い

#### 見極める

- ホームステイのノウハウを活用した、市民レベルでの国際交流促進

#### 発信する

- ファッション産業を軸にした、新ながおかの産業観光\*の拠点としての機能強化・発信
- \*産業観光：これまでの観光資源とは異なり、様々な産業を観光面での切り口として開発

#### 育てる

- 新ながおかを訪れる人々が魅力を感じる特産品（産業観光の視点を重視）を提供していく体制と拠点づくり

### 4 整備・活動方針と活動展開

#### —新市全体のありたい姿— WANT

見附地域において

## 世界をつなぐ和らぎ交流都市

～「人」「ものがたり」「競和国」・新ながおか～

を高める方向性

- ・ホームステイ事業のノウハウを活用した民泊の推進
- ・産業面や文化面等の多分野を通じた幅広い交流活動展開の可能性
- ・特に国際交流（受け入れ）のチャンネルの活用が期待できる

#### —実現すべき見附の姿— WILL

#### ■見附地域整備・活動方針

### 「新ながおか・北の玄関口」として産業と伝統の環で結ぶ交流拠点の創造

- ・他地域の資源と連携した広域観光ネットワーク
- ・これまでの交流実績を活用した和らぎ交流の実践地域

実現していくための活動・展開

#### 見極める

- ホームステイのノウハウを活用した、市民レベルでの国際交流促進

#### 発信する

- ファッション産業を軸にした、新ながおかの産業観光\*の拠点としての機能強化・発信
- \*産業観光：これまでの観光資源とは異なり、様々な産業を観光面での切り口として開発

#### 育てる

- 新ながおかを訪れる人々が魅力を感じる特産品（産業観光の視点を重視）を提供していく体制と拠点づくり



# もっと詳しく地域のか

## 見附地域

見附市は織物とニットを中心に発展してきたファッションのまちです。ファッションとは身につける装いだけでなく、心も美しく豊かにしてくれるものです。見附市は、住む人の身も心も健康で豊かに暮らせるようなまち「トータル・ファッションシティの創造」を目指しています。

### ■いきいき健康づくり推進

見附市では、健康長寿日本一への挑戦を目指し、市をあげて「いきいき健康づくり」を推進しています。具体的な取り組みとしては、筑波大学の指導に基づく個別プログラムによる科学的トレーニングの実施で高齢者の寝たきり防止や病気予防、また「マクロビオティック食事法」の考え方を活かした食生活の改善などがあげられます。この自然食を基本とした健康食事法は、地域で生産される野菜を使うなど、地産地消とも連動しています。

こうした取り組みは元気な高齢者を増やし、高齢者もっている豊かな技術・経験・知恵を次世代に伝え、世代間交流を盛んにすることでまちの活性化を図ろうというものです。次世代の育成については、子どもたちの自主性を尊重するプログラム「わくわく見附アクションプラン」も実施しています。



### ■新潟県中部産業団地（見附テクノ・ガーデンシティ）

新潟県中部産業団地（見附テクノ・ガーデンシティ）は、新潟県の中央に位置し、繊維産業を基幹産業としてきた見附市の西側にあたる。北陸自動車道中之島見附ICから2km、上越新幹線長岡駅から11km、信越本線見附駅から1.2kmと高速交通網に恵まれている。



### ■ニット祭り

春秋年2回開催されており、ブランドラベルのつかない製品を超低価格で販売し人気を集めている。



### ■見附産コシヒカリ

肥沃な大地で生まれる安心・安全・美味なコシヒカリが健康づくりを応援します。



### ■医療・福祉の里

市立成人病センター病院、特別養護老人ホーム、老人保健施設、保健福祉センターなどを市街地に集積。市の医療・福祉施策の拠点として活用されている。



### ■新潟県のへそ

国土地理院北陸地方測量部により、葛巻二丁目の中央ガス供給所の敷地内が新潟県のど真ん中と判明。これがきっかけとなってポケットパーク「新潟県の重心地」が作られました。